

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和6年12月19日(2024.12.19)

【公開番号】特開2023-87993(P2023-87993A)

【公開日】令和5年6月26日(2023.6.26)

【年通号数】公開公報(特許)2023-118

【出願番号】特願2021-202585(P2021-202585)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 304 D

A 63 F 7/02 320

【手続補正書】

【提出日】令和6年12月11日(2024.12.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

表示部と、

音声を出力可能な音声出力手段と、

遊技を制御可能な遊技制御手段と、

所定の演出を実行可能な演出実行手段と、を備え、

前記遊技制御手段は、

所定の判定処理での判定に基づいて、大当たり遊技状態に制御可能であり、

遊技者に付与される賞球数に基づく特定計測数を計測可能であり、

前記大当たり遊技状態に制御されているときに前記特定計測数が予め定められた基準数以上であって当該大当たり遊技状態が終了すると、遊技を実行不能に制御可能であり、

前記演出実行手段は、

前記大当たり遊技状態に制御されているときに前記特定計測数が予め定められた基準数以上であって当該大当たり遊技状態が終了すると、遊技が実行不能になったことを示す遊技不能報知演出を実行可能であり、

前記音声出力手段を用いて、所定の言葉を含む台詞を音声で発する台詞演出を実行可能であり、

前記台詞演出には、前記所定の言葉の部分を第1時間にわたって音声で発する第1台詞演出と、前記第1時間よりも長い第2時間にわたって音声で発する第2台詞演出と、があり、

前記第1台詞演出と前記第2台詞演出とで、その実行後に前記大当たり遊技状態に制御される確率が異なり、

前記第1台詞演出および前記第2台詞演出の一方の台詞演出では前記所定の言葉を表す文字が前記表示部に表示され、他方の台詞演出では前記文字が表示されないことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

音声を出力可能な音声出力手段と、

遊技を制御可能な遊技制御手段と、

所定の演出を実行可能な演出実行手段と、を備え、

40

50

前記遊技制御手段は、

所定の判定処理での判定に基づいて、大当たり遊技状態に制御可能であり、

遊技者に付与される賞球数に基づく特定計測数を計測可能であり、

前記大当たり遊技状態に制御されているときに前記特定計測数が予め定められた基準数以上であって当該大当たり遊技状態が終了すると、遊技を実行不能に制御可能であり、

前記演出実行手段は、

前記大当たり遊技状態に制御されているときに前記特定計測数が予め定められた基準数以上であって当該大当たり遊技状態が終了すると、遊技が実行不能になったことを示す遊技不能報知演出を実行可能であり、

前記音声出力手段を用いて、所定の言葉を含む台詞を音声で発する台詞演出を実行可能であり、

前記台詞演出には、前記所定の言葉の部分を第1時間にわたって音声で発する第1台詞演出と、前記第1時間よりも長い第2時間にわたって音声で発する第2台詞演出と、があり

前記第1台詞演出と前記第2台詞演出とで、その実行後に前記大当たり遊技状態に制御される確率も、前記音声出力手段からの音量も異なることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

ところで、遊技機では、遊技者が継続した遊技によって、過剰な賞球を獲得することがあり得る。この場合、遊技機が遊技者に対して過剰な賞球を付与しないようにすることはなかった。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は上記事情に鑑みてなされたものである。すなわち、その課題とするところは、遊技者に過剰な賞球を付与しない遊技機を提供することである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本明細書に開示される遊技機は、

表示部と、

音声を出力可能な音声出力手段と、

遊技を制御可能な遊技制御手段と、

所定の演出を実行可能な演出実行手段と、を備え、

前記遊技制御手段は、

所定の判定処理での判定に基づいて、大当たり遊技状態に制御可能であり、

遊技者に付与される賞球数に基づく特定計測数を計測可能であり、

前記大当たり遊技状態に制御されているときに前記特定計測数が予め定められた基準数以上であって当該大当たり遊技状態が終了すると、遊技を実行不能に制御可能であり、

前記演出実行手段は、

10

20

30

40

50

前記大当たり遊技状態に制御されているときに前記特定計測数が予め定められた基準数以上であって当該大当たり遊技状態が終了すると、遊技が実行不能になったことを示す遊技不能報知演出を実行可能であり、

前記音声出力手段を用いて、所定の言葉を含む台詞を音声で発する台詞演出を実行可能であり、

前記台詞演出には、前記所定の言葉の部分を第1時間にわたって音声で発する第1台詞演出と、前記第1時間よりも長い第2時間にわたって音声で発する第2台詞演出と、があり、

前記第1台詞演出と前記第2台詞演出とで、その実行後に前記大当たり遊技状態に制御される確率が異なり、

10

前記第1台詞演出および前記第2台詞演出の一方の台詞演出では前記所定の言葉を表す文字が前記表示部に表示され、他方の台詞演出では前記文字が表示されないことを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明によれば、遊技者に過剰な賞球を付与しない遊技機を提供することが可能となる

20

。

30

40

50